

「チームラボ 無限の連続の中の存在」を開催します

公開日: 2023年7月5日 更新日: 2023年7月7日 ID: 24476

資料提供日

令和5年7月5日(水曜日)

問い合わせ先

担当課 姫路市立美術館学芸課
担当者 二宮、紅林(くればやし)
電話番号 079-222-2288

姫路市立美術館で、「チームラボ 無限の連続の中の存在」を開催します。

展覧会概要

開催場所

姫路市立美術館 企画展示室

会期

2023年7月22日(土曜日)から2024年1月21日(日曜日)まで

- 会期中、前期・後期で作品を全て展示替えします。
- 前期展示: 7月22日(土曜日)から10月9日(月曜日・祝日)まで
- 後期展示: 10月21日(土曜日)から1月21日(日曜日)まで

開館時間

午前10時から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)

休館日

月曜日(但し9月18日、10月9日、1月8日は開館)、9月19日(火曜日)、12月28日(木曜日)から1月3日(水曜日)まで、1月9日(火曜日)

観覧料

- 一般 1,500円(1,300円) • 高校・大学生 1,100円(900円) • 小学・中学生 700円(500円)

カッコ内は20名以上の団体料金

混雑緩和のため、土曜・日曜・祝日は日時指定予約にご協力をお願いします。状況により変更となる場合があります。最新情報は当館ホームページをご確認ください。

主催・特別協力・後援

主催

姫路市立美術館

特別協力

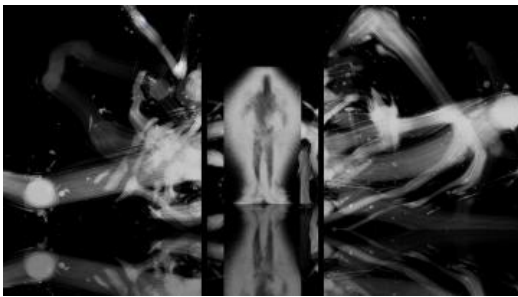
神戸新聞社

後援

- 朝日新聞姫路支局
- 産経新聞社神戸総局
- サンテレビジョン
- 播磨時報社
- 播磨リビング新聞社
- 姫路ケーブルテレビ
- 姫路シティFM21
- 毎日新聞姫路支局
- 読売新聞姫路支局
- ラジオ関西 (50音順)

展覧会について

チームラボは、アートによって人類の世界認識を変えようとしています。本展において、鑑賞者は、自分が立つ現実空間と、彼らが展開する作品空間がつながる「ボーダレス」な空間—超主観空間—に“没入”する経験を通じて、この世界が連続性の上に成り立っていることを身体的に認識することでしょう。近年、チームラボの探求はさらに深化を遂げ、「生命とは何か」というテーマのもと、次々と作品を発表しています。「私という存在は、心と体とそれらと連続する環境によって創られている」と彼らはいいます。生物と無生物という認識の境界をも超えようとするチームラボの現在地を、前期・後期の展示替えを通して長大なスケールで展開します。



(前期展示)
チームラボ
《反転無分別 - Light in Dark》
《Dissipative Figures – Human, Light in Dark》
©チームラボ(参考画像)



(前期展示)
チームラボ《増殖する無量の生命》©チームラボ



(後期展示)
チームラボ
《永遠の今の中で連続する生と死、コントロールできないけれども共に生きる》
©チームラボ



(後期展示)
チームラボ《憑依する炎》©チームラボ

展覧会の見どころ

1 前期・後期で全作品を入れ替え！4年ぶりとなる姫路の地で新作も公開！

本展は4年ぶりの姫路でのチームラボの展覧会となり、前期・後期でそれぞれ新作を含む5点ずつ計10点の作品が展示され、前期・後期で全く異なる作品世界が展開されます。ぜひ、どちらの会期にも足を運んで、自己と他者・外界とのあらゆる境界が取り払われたチームラボの「ポーターレス」な世界に触れてみてください。

2 チームラボの「超主観空間」を体感しよう！

鑑賞者が立つ現実世界と、目の前に広がる作品世界が境目なく繋がるアート空間「超主観空間」はチームラボの作品において重要な要素です。本展では、この「超主観空間」を強く体感できる作品が複数展示されます。チームラボの作品でしか味わえない、鑑賞者と作品が相互に作用し合うことで生まれる没入感、そして鑑賞者と作品が連続性を持ち一体となる感覚を存分に味わってください。

3 チームラボの最前線に美術館が迫る！

チームラボの探求は日々深化を遂げており、近年は「超主観空間」だけでなく、「生命とは何か」という主題のもと「私という存在は、心と体とそれらと連続する環境によって創られている」という考えを表す作品を次々と発表しています。本展は、そうしたチームラボの作品の根底にある理念や探求について本格的に紐解く展覧会です。美術館というアートに向き合うために存在する空間だからこそ実現できる、チームラボの現在地を象徴する作品世界をぜひその眼で確かめてください。

会期中の催し

対談 建畠哲×猪子寿之

登壇者：建畠哲氏（埼玉県立近代美術館館長）、猪子寿之氏（チームラボ代表）

日時：7月22日（土曜日）午後3時から午後4時30分（午後2時30分より受付開始）

場所：姫路市立美術館 2階講堂

定員：50名（参加申込多数の場合は抽選）

参加申込方法：姫路市立美術館ホームページのイベントページより、7月17日（月曜日）までに申し込み。6月23日（金曜日）より申し込み開始。

参加費：無料 但し、「チームラボ 無限の連続の中の存在」当日観覧券の提示が必要（半券可）。

子ども鑑賞会

日時：8月5日（土曜日）午後2時から午後3時（午後1時30分より受付開始）

場所：姫路市立美術館 2階講堂、企画展示室

定員：20組（参加申込多数の場合は抽選）

参加申込方法：姫路市立美術館ホームページのイベントページより、7月31日（月曜日）までに申し込み。6月30日（金曜日）より申し込み開始。

対象：小中学生（保護者同伴可）

参加費：無料 但し、「チームラボ 無限の連続の中の存在」の当日観覧券の提示が必要（半券可）。

関連情報

山陽電車

山陽電車では、山陽電車往復きっぷと一般入場券引換券がセットになった「チームラボ姫路美術館きっぷ」を発売!詳しくは[ご案内ページ](#)でご確認ください。

神姫バス

神姫バスでは、姫路城、美術館、書寫山圓教寺をお得に巡れるセット券、「しろのまちめぐり2DAYきっぷ」を発売中!詳しくは[ホームページ](#) 別ウィンドウで開くでご確認ください。

添付資料

無限の連続の中の存在

 [「チームラボ 無限の連続の中の存在」チラシ\(1\).\(PDF形式、1.96MB\)](#)

 [「チームラボ 無限の連続の中の存在」チラシ\(2\).\(PDF形式、1.42MB\)](#)

(参考)チームラボ 圓教寺 認知上の存在

 [「チームラボ 圓教寺 認知上の存在」チラシ \(PDF形式、1.98MB\)](#)



チームラボ

無限の連続の中の存在

teamLab: Existence in an Infinite Continuity



前期 | 《反転無分別-Light in Dark》、《Dissipative Figures-Human, Light in Dark》©チームラボ(参考画像)
1st Term | Reversible Rotation-Light in Dark / Dissipative Figures-Human, Light in Dark(Reference images)

姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art

前期 1st Term	2023.7.22 (Sat) - 10.9 (Mon)	10:00-17:00
後期 2nd Term	10.21 (Sat) - 2024.1.21 (Sun)	最終入場 Last entry 16:30
休館日 Closed	月曜日(9/18、10/9、1/8は開館)、9/19、12/28~1/3、1/9 Mondays (except 9/18, 10/9, 1/8), 9/19, 12/28 -1/3, 1/9	

主催: 姫路市立美術館 特別協力: 神戸新聞社
後援: 朝日新聞姫路支局、産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、播磨時報社、
播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、
毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西(50音順)

混雑緩和のため、土曜・日曜・祝日は日時指定予約にご協力をお願いします。
(詳しくは裏面をご覧ください。)

オールひめじ・アーツ&ライフプロジェクト
All Himeji Arts & Life Project



姫路市立美術館 姫路市立美術館
開館40周年記念

問い合わせ | 姫路市立美術館 〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL.079-222-2288
Contact | Himeji City Museum of Art 68-25 Honmachi, Himeji, Hyogo 670-0012 079-222-2288



文化庁 令和5年度文化庁文化観光拠点施設を
中核とした地域における文化観光推進事業



前期 《増殖する無量の生命》©チームラボ
1st Term | Proliferating Immense Life



前期 《生命は生命の力で生きているII》©チームラボ
1st Term | Life Survives by the Power of Life II

チームラボは、アートによって人類の世界認識を変えようとしています。本展において、鑑賞者は、自分が立つ現実空間と、彼らが展開する作品空間がつながる「ボーダレス」な空間—超主観空間—に“没入”する経験を通じて、この世界が連続性の上に成り立っていることを身体的に認識することでしょう。近年、チームラボの探求はさらに深化を遂げ、「生命とは何か」というテーマのもと、次々と作品を発表しています。「私という存在は、心と体とそれらと連続する環境によって創られている」と彼らはいいます。生物と無生物という認識の境界をも超えようとするチームラボの現在地を、前期・後期の展示替えを通して長大なスケールで展開します。

姫路市立美術館

チームラボ姫路
teamLabHimeji



teamLab aims to change humanity's perception of the world through art. In this exhibition, viewers will immerse themselves in borderless Ultrasubjective Space, where the physical space of reality they stand in merges with the space of the artworks. Through this immersive experience, viewers will become physically aware that the world is built on interconnectedness and continuity. In recent years, teamLab has begun to explore further, creating artworks centered around the theme of "What is life?" In their work, they state: "Our existence is shaped by the interplay between the mind, the body, and the environment that is continuous with them." Over two parts, this exhibition demonstrates how teamLab's current position transcends the conventional boundaries of perceiving living organisms and inanimate entities, showcasing the collective's progress on a large scale.

Himeji City Museum of Art

【チームラボとは】

アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団の創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。

【About teamLab】

teamLab (f. 2001) is an international art collective. Their collaborative practice seeks to navigate the confluence of art, science, technology, and the natural world. Through art, the interdisciplinary group of specialists, including artists, programmers, engineers, CG animators, mathematicians, and architects, aims to explore the relationship between the self and the world, and new forms of perception.

料金 / Admission

※()内は20人以上の団体料金 Prices in () for groups of more than 20 people

一般 Adult	高校・大学生 High School/ University Students	小・中学生 Elementary/ Junior High School Students
¥1,500(¥1,300)	¥1,100(¥900)	¥700(¥500)

療育手帳、精神障害者保健福祉手帳または身体障害者手帳をお持ちの方とその介護者の方は、手帳・マイロIDのご提示により半額でご観覧いただけます。

会期中の催し

《対談》建島 哲×猪子寿之

登壇者：建島 哲氏(埼玉県立近代美術館館長)

猪子寿之氏(チームラボ代表)

日時：7月22日(土)15:00~16:30
(受付は14:30から)

場所：姫路市立美術館 2階講堂

参加申込方法：姫路市立美術館のHPから
7月17日(月)までに申し込み

定員：50名(参加申込多数の場合は抽選)

参加費：無料

※但し「チームラボ 無限の連続の中の存在」
当日観覧券の提示が必要(半券可)。

子ども鑑賞会

講師：姫路市立美術館学芸員

日時：8月5日(土)14:00~15:00
(受付は13:30から)

場所：姫路市立美術館 2階講堂、企画展示室

参加申込方法：姫路市立美術館のHPから
7月31日(月)までに申し込み

定員：20組(参加申込多数の場合は抽選)

対象：小中学生(保護者同伴可)

参加費：無料

※但し「チームラボ 無限の連続の中の存在」
当日観覧券の提示が必要(半券可)。

関連企画展

チームラボ 圓教寺 認知上の存在

teamLab: Existence in Perception - Engyoji Temple

会場：書寫山圓教寺 食堂(国指定重要文化財)

会期：2023.4.29(Sat) - 12.3(Sun)



©書寫山圓教寺 我々の中にある巨大火花 / Giant Solidified Spark ©チームラボ

美 姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art

《問い合わせ/Contact》

姫路市立美術館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL.079-222-2288

Himeji City Museum of Art

68-25 Honmachi, Himeji, Hyogo 670-0012 079-222-2288

山陽電車

「チームラボ姫路市立美術館きっぷ」を発売！
山陽電車往復きっぷと一般入場券引換券がセット！
詳細はホームページでご確認ください。



神姫バス

「しろのまちめぐり2DAYきっぷ」を発売中！
姫路城、美術館、書寫山圓教寺をお得にめぐれるセット券。
詳細はホームページでご確認ください。



〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL.079-222-2288

[アクセス] JR・山陽電車姫路駅より神姫バス●●乗り場から約2分(徒歩約8分)。
[姫山公園南・国立姫路医療センター・美術館前]下車すぐ。姫路駅より徒歩約20分(姫路城東隣)。
※上記路線バスのほか、姫路城ループバスも停車します(停留所は「美術館前」)。
※美術館には駐車場がありませんので近隣の駐車場(有料)をご利用ください。



混雑緩和のため、土曜・日曜・祝日は日時指定予約にご協力をお願いします。状況により変更となる場合があります。最新情報は当館ホームページをご確認ください。



チームラボ

無限の連続の中の存在

teamLab: Existence in an Infinite Continuity



前期 | 《増殖する無量の生命》©チームラボ
1st Term | Proliferating Immense Life

姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art

前期 2023.7.22 (Sat) - 10.9 (Mon)
1st Term

10:00-17:00

後期 10.21 (Sat) - 2024.1.21 (Sun)
2nd Term

最終入場 16:30
Last entry

主催: 姫路市立美術館 特別協力: 神戸新聞社
後援: 朝日新聞姫路支局、産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、播磨時報社、
播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、
毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西(50音順)

休館日 月曜日(9/18、10/9、1/8は開館)、9/19、12/28~1/3、1/9
Closed Mondays (except 9/18, 10/9, 1/8), 9/19, 12/28 - 1/3, 1/9

混雑緩和のため、土曜・日曜・祝日は日時指定予約にご協力をお願いします。
(詳しくは裏面をご覧ください。)

オールひめじ・アーツ&ライフプロジェクト
All Himeji Arts & Life Project



姫路市立美術館 姫路市立美術館
開館40周年記念

問い合わせ 姫路市立美術館 〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL.079-222-2288
Contact Himeji City Museum of Art 68-25 Honmachi, Himeji, Hyogo 670-0012 079-222-2288



文化庁 令和5年度文化庁文化観光拠点施設を
中核とした地域における文化観光推進事業



前期 | 《反転無分別-Light in Dark》、《Dissipative Figures-Human, Light in Dark》©チームラボ(参考画像)
1st Term | Reversible Rotation-Light in Dark / Dissipative Figures-Human, Light in Dark(Reference images)



前期 | 《生命は生命の力で生きているII》©チームラボ
1st Term | Life Survives by the Power of Life II

チームラボは、アートによって人類の世界認識を変えようとしています。本展において、鑑賞者は、自分が立つ現実空間と、彼らが展開する作品空間がつながる「ボーダレス」な空間—超主観空間—に“没入”する経験を通じて、この世界が連続性の上に成り立っていることを身体的に認識することでしょう。近年、チームラボの探求はさらに深化を遂げ、「生命とは何か」というテーマのもと、次々と作品を発表しています。「私という存在は、心と体とそれらと連続する環境によって創られている」と彼らはいいます。生物と無生物という認識の境界をも超えようとするチームラボの現在地を、前期・後期の展示替えを通して長大なスケールで展開します。

姫路市立美術館

チームラボ姫路
teamLabHimeji



teamLab aims to change humanity's perception of the world through art. In this exhibition, viewers will immerse themselves in borderless Ultrasubjective Space, where the physical space of reality they stand in merges with the space of the artworks. Through this immersive experience, viewers will become physically aware that the world is built on interconnectedness and continuity. In recent years, teamLab has begun to explore further, creating artworks centered around the theme of “What is life?” In their work, they state: “Our existence is shaped by the interplay between the mind, the body, and the environment that is continuous with them.” Over two parts, this exhibition demonstrates how teamLab's current position transcends the conventional boundaries of perceiving living organisms and inanimate entities, showcasing the collective's progress on a large scale.

Himeji City Museum of Art

【チームラボとは】

アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。

【About teamLab】

teamLab (f. 2001) is an international art collective. Their collaborative practice seeks to navigate the confluence of art, science, technology, and the natural world. Through art, the interdisciplinary group of specialists, including artists, programmers, engineers, CG animators, mathematicians, and architects, aims to explore the relationship between the self and the world, and new forms of perception.

料金/ Admission

※()内は20人以上の団体料金 Prices in () for groups of more than 20 people

一般 Adult	高校・大学生 High School/ University Students	小・中学生 Elementary/ Junior High School Students
¥1,500(¥1,300)	¥1,100(¥900)	¥700(¥500)

療育手帳、精神障害者保健福祉手帳または身体障害者手帳をお持ちの方とその介護者の方は、手帳・マイQRIDのご提示により半額でご観覧いただけます。

会期中の催し

《対談》建島 哲×猪子寿之

登壇者：建島 哲氏(埼玉県立近代美術館館長)

猪子寿之氏(チームラボ代表)

日時：7月22日(土)15:00~16:30

(受付は14:30から)

場所：姫路市立美術館 2階講堂

参加申込方法：姫路市立美術館のHPから

7月17日(月)までに申し込み

定員：50名(参加申込多数の場合は抽選)

参加費：無料

※但し「チームラボ 無限の連続の中の存在」

当日観覧券の提示が必要(半券可)。

子ども鑑賞会

講師：姫路市立美術館学芸員

日時：8月5日(土)14:00~15:00

(受付は13:30から)

場所：姫路市立美術館 2階講堂、企画展示室

参加申込方法：姫路市立美術館のHPから

7月31日(月)までに申し込み

定員：20組(参加申込多数の場合は抽選)

対象：小中学生(保護者同伴可)

参加費：無料

※但し「チームラボ 無限の連続の中の存在」

当日観覧券の提示が必要(半券可)。

関連企画展

チームラボ 圓教寺 認知上の存在

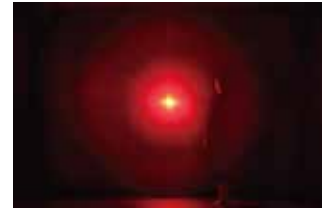
teamLab: Existence in Perception - Engyoji Temple

会場：書寫山圓教寺 食堂(国指定重要文化財)

会期：2023.4.29(Sat) - 12.3(Sun)



©書寫山圓教寺 我々の中にある巨大火花 / Giant Solidified Spark ©チームラボ



《問い合わせ/Contact》

姫路市立美術館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL.079-222-2288

Himeji City Museum of Art

68-25 Honmachi, Himeji, Hyogo 670-0012 079-222-2288

山陽電車

「チームラボ姫路市立美術館きっぷ」を発売!
山陽電車往復きっぷと一般入場券引換券がセット!
詳細はホームページでご確認ください。



神姫バス

「しらのまめぐり2DAYきっぷ」を発売中!
姫路城、美術館、書寫山圓教寺をお得にめぐれるセット券。
詳細はホームページでご確認ください。



〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL.079-222-2288

[アクセス]JR・山陽電車姫路駅より神姫バス乗り場から乗車約8分、

「姫山公園南・国立姫路医療センター・美術館前」下車すぐ。姫路駅より徒歩約20分(姫路城東隣)。

※上記路線バスのほか、姫路城ループバスも停車します(停留所は「美術館前」)。

※美術館には駐車場がありませんので近隣の駐車場(有料)をご利用ください。



混雑緩和のため、土曜・日曜・祝日は日時指定予約にご協力を願います。状況により変更となる場合があります。最新情報は当館ホームページをご確認ください。

チームラボ 圓教寺 認知上の存在



teamLab: Existence in Perception - Engyoji Temple

姫路 書寫山圓教寺 食堂 Jiki-do, Shoshazan
Engyoji Temple, Himeji

2023.4.29 (Sat) - 12.3 (Sun) 10:00 - 15:45 15:30
最終入場 / Last entry

会期中無休 (天候により中止になる場合があります) / Open every day (may close in case of inclement weather)

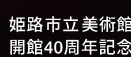
主催：書寫山圓教寺、姫路市立美術館 後援：朝日新聞姫路支局、神戸新聞社、産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM 21、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西 (50音順)



令和5年度 文化庁 文化観光拠点施設を
中核とした地域における文化観光推進事業



姫路市立美術館
開館40周年記念



オールひめじ・アーツ&ライフプロジェクト
All Himeji Arts & Life Project



チームラボ 圓教寺 認知上の存在

teamLab: Existence in Perception - Engyoji Temple



書寫山圓教寺の三之堂を構成する伽藍のひとつ「食堂（じきどう）」（国指定重要文化財）は、後白河法皇の勅願により創建された。現在の建物は室町時代のもので、僧侶の学問や寝食の場であった。2階建の仏堂としては日本の指定文化財の中で最大規模であるこの食堂1階を会場に、チームラボによるアートが展示される。

チームラボは「存在とは何か？」を問う。目に見える世界がそこにある世界とは限らない。その場合、見えている世界は何か。それは、見ている者の認知の中に存在しているものである。世界は我々の外に独立してあるのではなく、我々とつながって、我々とともに、我々の中にもある。

物質的には存在しないはずの光の造形や輝きを見る者に知覚させる本展示作品は、環境と認知の作用によって生み出された現象である。作品を見る者は、それが置かれた世界と、その中に連続して存在する自分自身に目を向けることになる。平安の時代から一千余年の歴史を重ねる「総合芸術の聖地」圓教寺で投げかけられるチームラボの光は、「存在」という普遍的な問いをめぐる思索へと鑑賞者を導くことだろう。

姫路市立美術館

The Jiki-do, a nationally designated Important Cultural Property and one of the three temple buildings (collectively called Mitsunodo) of Shoshazan Engyoji Temple, was built upon the imperial request of Emperor Go-Shirakawa. The current building is from the Muromachi period (1336 to 1573), and was a multi-purpose space for monks used for learning, lodging, and dining. teamLab's artworks will be exhibited on the first floor of this Jiki-do, whose two-storey structure is one of Japan's largest-scale Important Cultural Properties designated by the country.

teamLab explores the notion of existence. The world we see with our eyes is not necessarily the world that exists. In which case, what is the world that we are seeing? It is something that exists within the viewer's perception. The world does not exist separately, independent from us - rather it is continuous with us, together with us, and within us.

The exhibited artworks, that lead viewers to perceive forms of light and radiance that do not physically exist, are phenomena born from the effects of the environment and our perception. The viewer looks at the world in which the work is placed, and at their own continuous existence within that world. In this exhibition, teamLab invites viewers to reconsider the universal question of existence in Engyoji Temple, a venue regarded as a sacred location for the arts with a history of over 1,000 years since the Heian period (794 - 1185).

Himeji City Museum of Art



我々の中にある巨大火花
Giant Solidified Spark



質量のない太陽、歪んだ空間
Massless Sun, Distorted Space

【チームラボとは】アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団の創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。

teamLab (f. 2001) is an international art collective. Their collaborative practice seeks to navigate the confluence of art, science, technology, and the natural world. Through art, the interdisciplinary group of specialists, including artists, programmers, engineers, CG animators, mathematicians, and architects, aims to explore the relationship between the self and the world, and new forms of perception.

teamlab.art



【所在地/Address】
書寫山圓教寺 食堂
Jiki-do, Shoshazan Engyoji Temple
〒671-2201 兵庫県姫路市書写 2968
2968 Shosha, Himeji, Hyogo

【開催時間/Opening hours】
10:00 - 15:45 (15:30 最終入場 / Last entry)

【料金/Admission】※別途、志納金が必要です / A separate offering will be required

一般 Adult	高校・大学生 High School/ University Students	小中学生 Elementary/Junior High School Students	未就学児 Preschoolers
¥500	¥200	¥100	無料 / Free

【問い合わせ/Contact】
姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art
079-222-2288

書寫山圓教寺
Shoshazan Engyoji Temple
079-266-3327

#チームラボ圓教寺
#teamLabEngyoji



【アクセス/Access】



- **ロープウェイ山麓駅まで**
JR・山陽電鉄 姫路駅バスターミナル@乗場から神姫バス「書写山ロープウェイ行」で終点下車（約30分）
- **ロープウェイ山麓駅から**
山上駅下車（約4分）
志納所（ロープウェイ山上駅すぐ）からマイクロバスで「摩尼殿下」下車（約5分）
※書写山ロープウェイは8:30より毎時00分、15分、30分、45分出発
※マイクロバスは特別志納金500円で往復ご乗車いただけます
※志納所から「摩尼殿下」までは徒歩でも移動できます（約20分）
- **「摩尼殿下」から**
食堂（じきどう）まで徒歩（約10分）

- **Getting to Sanroku Station (Ropeway)**
Take the Shinkii Bus headed for Shoshazan Ropeway (last stop) departing from Bus Terminal 10 at JR/Sanyo Electric Railway Himeji Station (30-min ride)
- **From Sanroku Station (Ropeway)**
Get off at Sanjo Station (4-min ride). Transfer to the minibus departing from the Shinosho (reception), and get off at Maniden-shita (5-min ride)
*The ropeway departs every 15 minutes from 8:30
*The minibus ride (return-trip) is included in the 500 JPY temple entrance fee
*You can also walk to the Maniden from the Shinosho (20-min walk)
- **From Maniden-shita**
10-min walk to Jiki-do

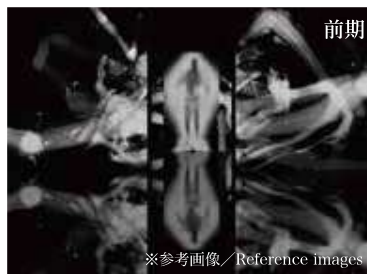
関連企画展

チームラボ 無限の連続の中の存在

teamLab: Existence in an Infinite Continuity

姫路市立美術館 前期: 2023.7.22 (Sat) - 10.9 (Mon)
Himeji City Museum of Art 後期: 10.21 (Sat) - 2024.1.21 (Sun)

※会期・作品は変更の可能性があります



前期



後期

永遠の今の中で連続する生と死、
コントロールできないけれども共に生きる
Continuous Life and Death at the Now of Eternity,
Cannot be Controlled but Live Together

※参考画像 / Reference images